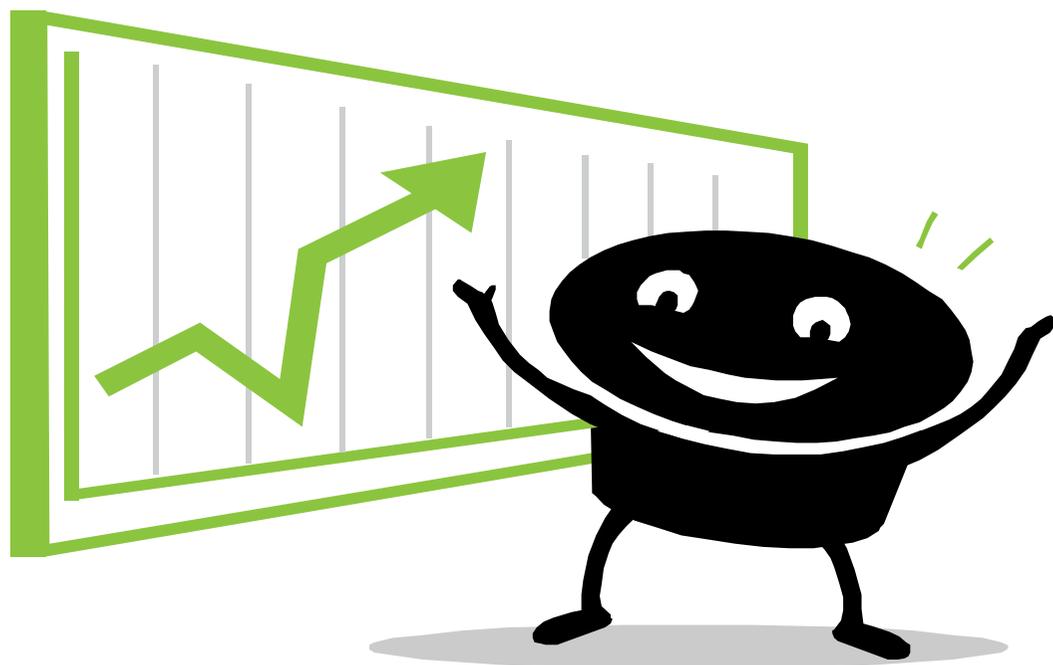


CFP®資格審査試験合格体験談 ～ダイジェスト版～



ひとりひとりの夢をかたちに
日本FP協会

学習方法(1)～認定教育機関の講座活用編～

CFP®試験対策講座の受講

◆受講形態

⇒通学・通信(DVD/WEB)・通学＋通信から選べる

◆受講回数

⇒1回～8回程度(1課目あたりの目安)

◆講座内容

⇒基本講座・応用講座・模擬試験など

⇒1課目～パック講座まで選択可

◆継続教育単位

⇒CFP®試験対策講座は継続教育単位が付与される

※詳しくはMyページまで<https://members.jafp.or.jp/>

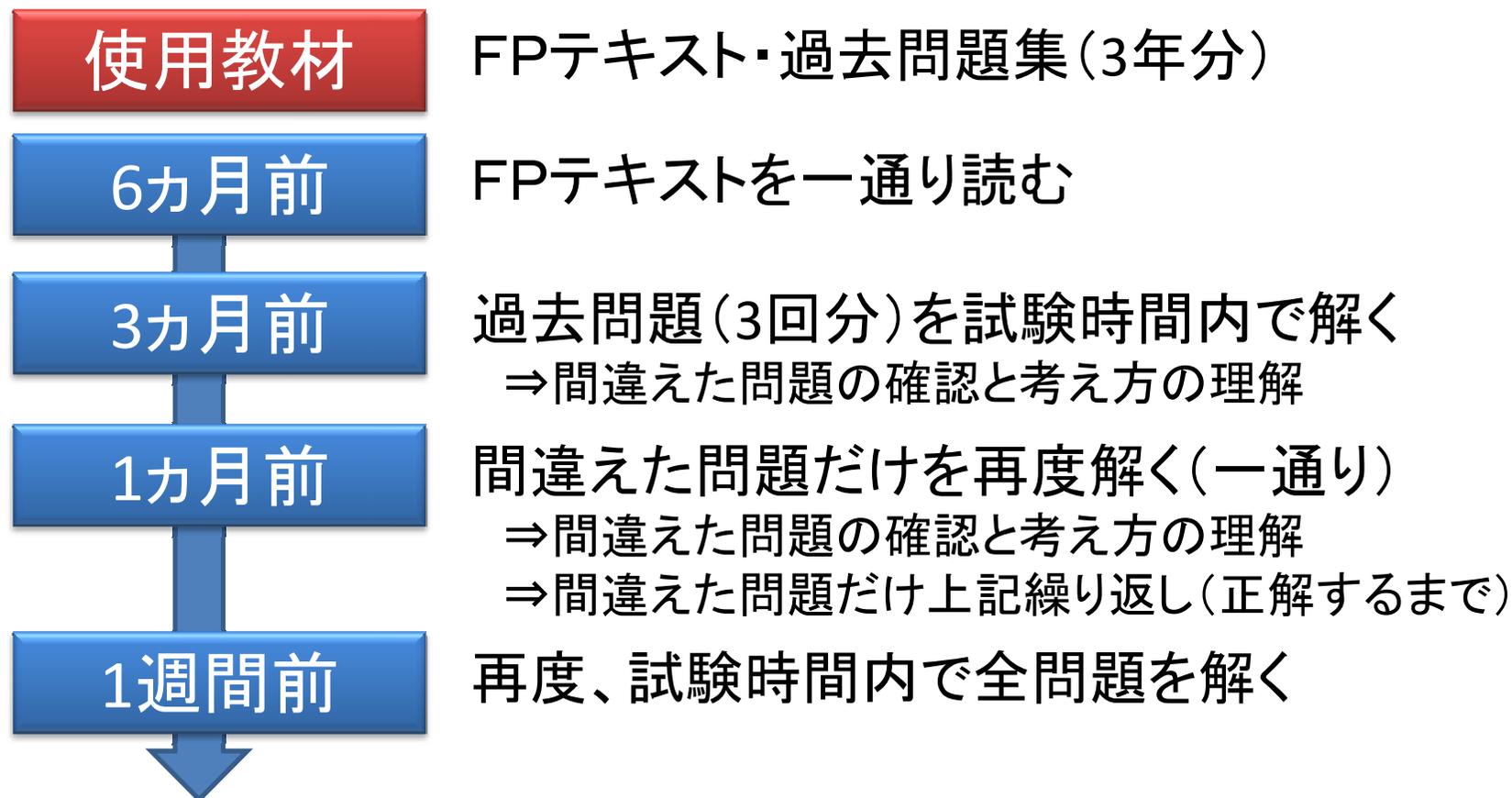
◆過去問題集活用のポイント

⇒同じ問題集を何度も解いて解き方になれる。弱点部分をピックアップし、徹底攻略する。

◆モチベーション維持のポイント

⇒講座を受講中に書いたものは、課目ごとにファイリングしてストックしていくことで、作業を通して知識を定着させる。

学習方法(2)～独学編～



◆本番で緊張しないためのポイント

⇒B5版の過去問をA4版に拡大コピーして、本番と同じサイズで挑戦する。
使う電卓、置く場所などの調整も行って、本番と同じ条件にする。

◆知識活用のポイント

⇒学んだ知識は実務で活用してみる。お客様の提案に活用する。

学習時間

休日の時間を活用

- ◆ 休日に講座を受講
- ◆ 休日の決めた時間で学習

すき間時間を活用

- ◆ 片道1時間半(往復3時間)を利用
- ◆ 出勤前の朝30分、就寝前の夜30分で学習
- ◆ 空き時間の5分でテキストを読み込む
- ◆ 始業前の15分で時事問題対策
 - …新聞やネットで役立つ情報をストック
- ◆ お昼休みの30分で前日の復習

苦手課目対策

心構え編

- ◆根拠なく「苦手」と思わないことが大事
- ◆「好きになること」が近道

学習編

- ◆講師の方のアドバイスを素直に採用
- ◆間違えた問題をカード化する
 - ⇒間違えた(覚え難い、理解し難い)問題を1問ずつカード化し、毎日解答
- ◆実際に作業を試してみる
 - ⇒国税庁のHPから確定申告書をプリントアウトし、実際に数字を書いて構造を理解

その他

- ◆日常生活の中で、関連するテーマにアンテナを張る
 - ⇒テキストを読んでも馴染めない用語は、金融小説などを読んでみる
- ◆情報に出会ったら学習したことと結びつけて考える